

研究課題 (テーマ)	教育および学習支援の中心としての図書館の機能展開		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者 楠井隆史	工学部環境工学科	教授	附属図書館 (図書館長・楠井隆史)

## 研究結果の概要

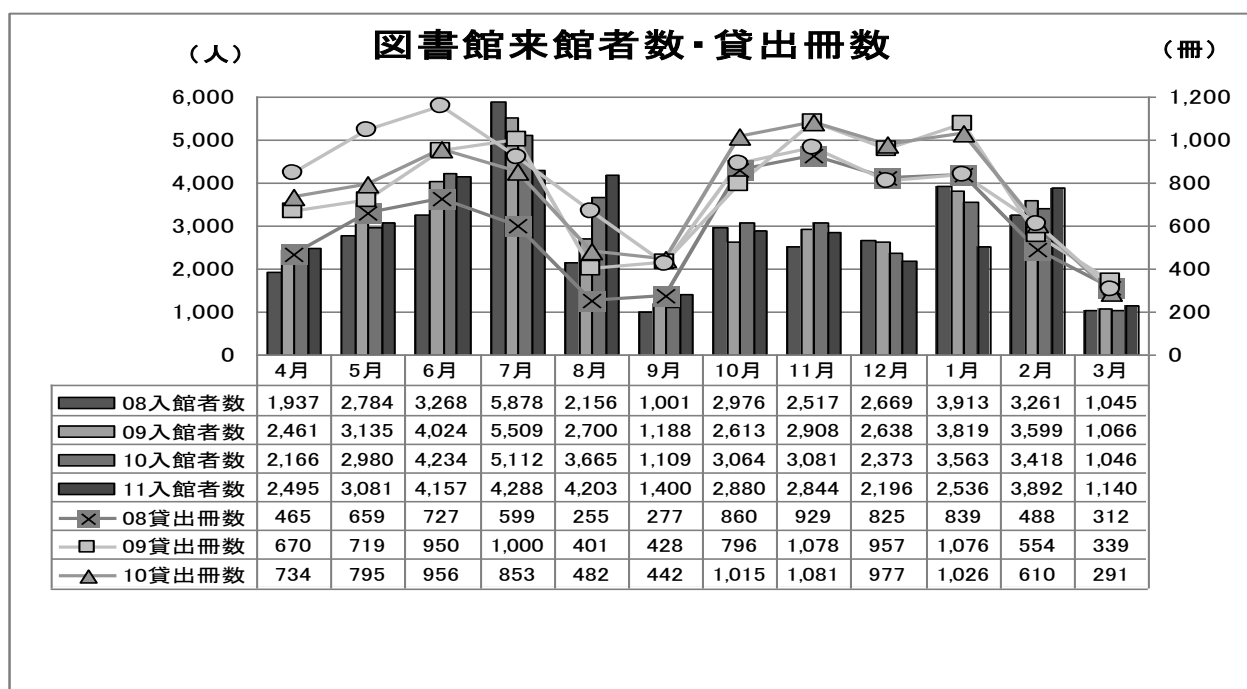
## &lt;実施内容&gt;

- ・読書マラソンへの支援継続として、学生向け図書を新たに 51 冊購入した。
- ・外国語 (英語) の副教材および授業時間外の学習用として、語学用 DVD を 34 本購入した。
- ・授業時間を利用して、司書による図書検索ガイダンスを実施した。
- ・教員による推薦図書 (ブックガイド) を図書館ホームページに掲載するとともに、図書館内に掲示した。
- ・AVコーナーに案内板、防音・目隠しのためのカーテンを設置し、利便性向上に努めた。
- ・図書館ホームページで新着図書案内を行った。

## &lt;成果&gt;

図書館の入館者数については 21 年度が 35,660 人、22 年度が 35,811 人、23 年度が 35,112 人と減少したものの、学生の図書貸出数については 21 年度が 7,040 冊、22 年度が 7,263 冊、23 年度が 7,411 冊、と増加傾向にある。

学生 1 人あたりの年間貸出冊数は、20 年度 4.9 冊と 5 冊にも満たない状態であったが、21 年度 6.26 冊、22 年度 6.39 冊、23 年度 6.39 冊と少しずつではあるが増加してきている。目標としていた 7 冊には及ばなかったが、これまでの取り組みが浸透してきた表れでもあり、学生の読書に対する意欲向上に貢献できたと考えられる。



## 今後の展開

引き続き生協と協力し、「読書マラソン」用図書を適宜入れ替えると同時に、不足している語学用 DVD や AV 関係資料等を充実させていく必要がある。

また今後は、館内の掲示や配架を工夫したり、カウンタースペースを有効に活用するなどして、利用者サービスの向上に努めていきたい。